

碧南市教育委員会 10月定例会議事日程表

令和7年10月28日（火）

午後2時～

碧南市役所4階 庁議室

1 開会の辞

2 教育長報告

3 前回会議録の承認について

4 議 案

(1) 協議事項

ア 令和7年度碧南市教育委員会点検・評価報告書について (別添資料)
(庶務課)

イ まなびさぽーと中学生の決定について (当日資料)
(庶務課)

(2) 報告事項

9月議会一般質問内容及び回答について (資料1)
(関係各課)

(3) その他

ア 各課報告

イ 今後の予定

(ア) 棚尾小学校運動会

令和7年11月1日（土）

(イ) 11月定例会

令和7年11月27日（木）午後2時から

文化会館5階研修室1

5 閉会の辞

教育長 活動報告

月 日	曜日	行 事	場 所
9月26日	金	本会議（5日目）	議場
9月27日	土	創意くふう展表彰式	ものづくりセンター
9月30日	火	大監視活動	警察署北交差点
9月30日	火	全三河書道百選展	岡崎市美術館
9月30日	火	附属岡崎三校教育懇談会	岡崎ニューグランドホテル
9月30日	火	みらいへつなごう！スマイルトーク	棚尾公民館
10月1日	水	辞令交付式（新規採用職員）	市長室
10月1日	水	表敬訪問（和道会全国空手道競技大会結果報告）	応接室A
10月2日	木	学校訪問	西端小学校
10月3日	金	校長会	議員大会議室
10月4日	土	小学校陸上競技大会	新川小学校
10月5日	日	J B Vシリーズ2025碧南大会丸八証券カップ	ビーチコート
10月6日	月	みらいへつなごう！スマイルトーク	西端公民館
10月7日	火	碧南市小学校陸上競技大会	新川小学校
10月9日	木	学校訪問	日進小学校
10月10日	金	体育大会	市内中学校
10月11日	土	へきなんマンモスモルックフェス	臨海ドーム
10月15日	水	みらいへつなごう！スマイルトーク	南部市民プラザ
10月17日	金	寄附贈呈式（アイシン辰栄株式会社）及び表敬訪問（アイシンティルマーレ）	応接室A
10月17日	金	表敬訪問（東海中学校総合体育大会陸上競技大会結果報告）	応接室A
10月20日	月	学校訪問	中央中学校
10月21日	火	教育支援委員会	会議室1
10月21日	火	みらいへつなごう！スマイルトーク	東部市民プラザ
10月23日	木	まなびさぽーと審査委員会	教育委員会室
10月25日	土	運動会	新川小学校、中央小学校、大浜小学校、鷺塚小学校、西端小学校
10月26日	日	碧南市消防団消防操法大会	碧南消防署
10月27日	月	みらいへつなごう！スマイルトーク	あいくる
10月28日	火	定例教育委員会	庁議室
10月28日	火	表敬訪問（全国中学生ソフトテニス大会結果報告）	応接室A

教育長 活動予定

月 日	曜日	行 事	場 所
10月31日	金	三河部都市町村教育長協議会	豊川市防災センター
11月1日	土	運動会	棚尾小学校
11月2日	日	文化祭総合美術展表彰式	文化会館
11月2日	日	親子キャッチ575表彰式	文化会館
11月2日	日	全国レクリエーション大会 i n あいち碧南会場表彰式	臨海体育館
11月5日	水	校長会	議員大会議室
11月7日	金	西三河地方教育事務協議会幹事会	西三河総合庁舎
11月7日	金	教育長会議	西三河総合庁舎
11月9日	日	碧南市総合防災訓練	鷺塚小学校
11月10日	月	学校訪問	西端中学校
11月11日	火	税に関する習字・作文表彰式	碧南商工会議所
11月12日	水	教育支援委員会	会議室 1
11月12日	水	みらいへつなごう！スマイルトーク	中部公民館
11月13日	木	学校訪問	南中学校
11月14日	金	吉岡弘昭展開会式・内覧会	藤井達吉現代美術館
11月16日	日	秋のクリンピー	西端・油ヶ渕遊園地
11月19日	水	石油コンビナート訓練	J E R A（港南町）
11月20日	木	愛知県道徳教育推進会議研究推進校視察	稲沢市立小正小学校
11月21日	金	優良従業員表彰式	商工会議所
11月25日	火	まなびさぽーと中学生の部表彰式	会議室 1
11月27日	木	定例教育委員会	文化会館

令和 7 年碧南市教育委員会 9 月定例会 会議録

1 日時 令和 7 年 9 月 2 5 日（木） 午後 2 時から午後 2 時 4 0 分まで

2 場所 碧南市学校給食センター 2 階 会議室

3 出席者

(1) 教育委員

委員 岡本 明弘、委員 深津 茂樹、委員 大村 幸、委員 榊原 京子、
教育長 小澤 徹

(2) 事務局職員

教育部長 岡本 和雄、庶務課長 松野 盛高、学校教育課長 鎌谷 祥行、
生涯学習課長 金原 厚夫、文化財課長兼藤井達吉現代美術館副館長 山田 光則、
藤井達吉現代美術館副館長 木村 理恵子、スポーツ課長 中嶋 忠彦、
海浜水族館課長補佐 井上 貴光、庶務課庶務係長 齋藤 堂晴

(3) 関係者

小中学校長会会長 神谷 晃

4 傍聴者 0 人

5 議案

(1) 協議事項

ア 令和 8 年度学校教育予算に関する要望書について

イ 令和 8 年度教職員定期人事異動方針について

(2) その他

6 会議の概要

日程第 1 開会の辞

日程第 2 教育長報告

教育長が資料に基づき説明した。

〈意見・質疑なし〉

日程第 3 前回会議録の承認について

〈意見・質疑なし〉

事務局より会議録署名者に大村幸委員と榊原京子委員を指名し、事務局案で承認された。

日程第 4 議案

協議事項イ 令和８年度教職員定期人事異動方針について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１４条第７項により非公開とすることで決定。最後に審議することとした。

協議事項ア 令和８年度学校教育予算に関する要望書について

学校教育課長及び小中学校長会会長が別添資料１に基づき説明した。

〈意見・質疑〉

教 育 長 要望書の３ページのプール清掃について、現状は、中学校は部活動員が授業時間後に行っていると思われますが、小学校はどうでしょうか。

校 長 会 長 西端小学校では、主に５、６年生の高学年と教職員で午後の時間を使って掃除してもらっていますが、なかなか１日では終わらなく、日を改めて設定して何とか行っている状況です。

深 津 委 員 ２ページの６、スクールロイヤーの配置について、現状を教えてください。市で一人配置しているような状況でしょうか。

校 長 会 長 学校教育課を通じて、市の顧問弁護士に法律相談を行っています。

深 津 委 員 特に先生が直接相談に行くようなことは今のところないですか。

校 長 会 長 今のところないです。

教 育 長 県の予算でスクールロイヤーというのがあります。時間が設定され、西三河教育事務所を通じて利用する体制はあります。市専属で、継続的に相談に乗ってもらえるような制度ではありません。

岡 本 委 員 毎年聞いていて申し訳ないですけど、高速カラープリンタについてですが、カラー印刷はわかりやすくよいと思うのですが、極力印刷はしない方がよいように思います。

I C T支援員については、ずっと付けていかないといけないものではないでしょうか。少しずつ支援員や、その予算を削っていくことも検討してもよいかと思えます。

校 長 会 長 高速カラープリンタについて、小学校のテストの採点の際、生徒の回答用紙を一旦スキャナで読み込んで、デジタル採点システ

ムに入れると自動で採点してくれる、というものがあります。このソフトを使用し、児童に返却する際にカラー印刷ができるという利点があります。

I C T支援員については、タブレット学習の際の不具合対応であったり、アプリケーションの更新があった際に継続して支援していただくというところで大変役立っています。

教 育 長 カラー印刷については、教員の手間は減りますが、印刷枚数は増えることになります。コストとのバランスが問題になります。

なお、学校においては、カラー印刷は極力行わないというように教職員に対し指示しています。

校 長 会 レーザープリンタなので、印刷コストがかかってしまうのかなと考えています。インクジェットで高速印刷が可能になるとコスト削減が期待でき、デジタル採点システムがうまく機能するのかなと考えています。

榑 原 委 員 水泳授業の指導員及び補助員の派遣について教えてください。募集に対して応募はありましたか。派遣の効果はどのような感じでしたか。

校 長 会 授業実施の際は、担任プラス監視の教職員が必要になります。西端小学校の場合は、教頭や授業のない校務主任、教務主任がそこを担ってくれており、指導員、補助員がいてくれることで、その負担が減るようになりました。ぜひ継続をお願いしたいです。指導員、補助員の配置については学校教育課さんに行っていました。

学校教育課長 学校教育課とつながりとあるスポーツ関係の業者から人材の紹介を受け、各学校に1名はシフトを組んで配置することができました。

教 育 長 要望書3ページの通訳について通訳が必要な言語がとて多くなっていると思われます。アジア圏の言語のニーズが増えている印象があります。

校 長 会 長 翻訳アプリを駆使して対応していますが、本当に通じているか

わからないので、実際に通訳さんに来てもらえると本当にありがたいです。

審議の結果、承認された。

協議事項イ 令和８年度教職員定期人事異動方針について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第１４条第７項により非公開とし、関係部局職員以外は退席の上、秘密会として進行。

《午後２時２７分 休憩》

《関係者以外退席》

《午後２時２９分 再開》

審議の結果、承認された。

(午後２時４０分 閉会)

以上のとおり会議録を作成して、署名する。

令和７年１０月２８日

委員

委員

協議事項ア 令和7年度碧南市教育委員会点検・評価報告書について（庶務課）

別添資料のとおり

協議事項イ まなびさぽーと中学生の決定について（庶務課）

当日資料のとおり

報告事項ア 9月議会一般質問内容及び回答について（関係各課）

9月議会 質問内容及び回答

議員名	質問内容	課名 庶務課 回 答
生田悠議員	<p>2. 小中学校における水泳授業について</p> <p>(3) 学校プールの老朽化や維持管理に関するコストについて</p>	<p>維持管理に関するコストは、毎年、プールのろ過装置の点検委託費を予算計上・実施しているが、具体的な修繕計画は策定していない。日々の点検や、使用していく上で生じた不具合に対し修繕を実施している。</p> <p>過去の予算執行の実績としては、点検委託費として小中学校合わせて令和6年度で15万円余、修繕費として小中学校合わせて371万円余を支出している。主な修繕箇所は、定期的な交換が必要となるガスメーターをはじめ、老朽化により破損したプールサイドの床の補修、ろ過装置の破損部品の取替修繕、配管の漏水の修繕等である。また、プールに付帯する管理棟の屋根修繕や、トイレの修繕も行っている。</p>

山口春美議員	<p>4. 物価高騰から暮らしを守れ</p> <p>(9) 来年4月からの給食費無償化の見通しと市や県での「義務教育無償化」の立場に立った「給食費無償化」の実施を</p>	<p>給食費の無償化については、国は来年度予算の編成過程において検討すると認識しているため、今後の国、県及び他市の動向を注視しているところである。</p> <p>当市での来年度以降の給食費の無償化については、国の動向や、今後の財政状況を踏まえての判断になるかと思われるが、市長の重点政策として掲げているので、引き続き検討していく。</p>
小林晃三議員	<p>1. 碧南市の災害対策（酷暑・内水氾濫・地震津波）について</p> <p>(4) 地震津波対策について</p> <p>ア 耐震対策について</p> <p>(イ) 小中学校・保育園・幼稚園は</p>	<p>多くの校舎等が昭和40年代から50年代までに古い耐震基準で建てられ、また、老朽化が進んでいたため、耐震診断及び必要な耐震改修を終えている。この耐震改修により、建物の躯体の構造上の耐震性能は保たれていると考えている。</p>
森下敏弥議員	<p>1. 市長とのおしゃべり会について</p> <p>(4) 成果と市政への反映について</p> <p>ウ 意見の中で、市の施策や</p>	<p>食物アレルギーの子を持つ親の</p>

	<p>事業に反映された事例があれば具体的に示してください。</p> <p>< 2 回目質問 ></p> <p>給食において「ピーナッツ提供の中止」という施策をどのような判断とルールで実現しましたか。</p>	<p>会である「へきなんアレルギーの会」の方達とのおしゃべり会の中で、「学校給食において、地産地消としてピーナッツが給食に出ているが、アレルギー成分が空気中に舞い、換気をしても症状が出たことがある。」という御意見をいただいた。</p> <p>落花生は重篤な症状を起こしかねないアレルギー原因物質であり、他市でも使用していない状況を勘案して、ピーナッツの給食での提供中止を検討していたことから、令和7年度からピーナッツの提供をやめることとした。</p> <p>学校給食センターでは、アレルギーを持つ子ども達への配慮として、既存の設備や人材の中で、できる限りアレルゲンを含まない食材を使用し、特にナッツ類の使用を控えてきた。しかし、落花生については、重篤な症状を起こしかねないアレルギー原因物質で、他市では使用していない状況でも、碧南の地場農産物であることから、地産地消又は食育の観点から、アレルギーを持つ子への配慮を行</p>
--	---	--

		<p>った上で、「地豆」及び「落花生の煮豆」をそれぞれ１回程度、提供していた。</p> <p>以上の経緯があつたが、今回の御意見の事象を含め、今後も提供を続けることで、いつか重篤な症状を起こしかねないという懸念が払拭できないことから令和７年度から提供を中止した。</p>
鈴木みのり議員	<p>２．教育行政について</p> <p>(１) 学校教育について</p> <p>イ 今年度の各小学校区の出生数について</p> <p>(ア) 昨年度の各小学校区の出生数は(日本人・外国人別)</p> <p>(イ) 今年度の４月では小学校区別に新川８人、中央３人、大浜５人、棚尾２人、日進１人、鷺塚７人、</p>	<p>各小学校区における、誕生日が令和６年４月２日から令和７年４月１日までの子供の数は、新川では１２２人、うち外国籍１４人。中央では８０人、うち外国籍１１人。大浜では５８人、うち外国籍１０人。棚尾では６３人、うち外国籍６人。日進では４３人、うち外国籍７人。鷺塚では６９人、うち外国籍６人。西端では５５人、うち外国籍７人である。</p> <p>令和７年８月１日時点の数値では、新川３１人、うち外国籍５人。中央１７人、うち外国籍１人。大浜１９人、うち外国籍５人。棚尾</p>

	<p>西端 2 人となっていたが、最新の数値は。</p>	<p>10 人、うち外国籍 2 人。日進 10 人、うち外国籍 1 人。鷺塚 19 人、うち外国籍 4 人。西端 14 人、うち外国籍 3 人。</p> <p>合計 120 人で、うち外国籍 21 人である。</p>
	<p>ウ 今後の見通しと考え方について</p> <p>(7) 近隣市と比較して人口規模・通学距離を考慮した小中学校数は適正か。</p>	<p>小中学校の数について、当市は小学校 7 校に対し中学校 5 校、刈谷市が小学校 15 校に対し中学校 6 校、安城市が小学校 21 校に対し中学校 8 校、西尾市が小学校 25 校に対し中学校 9 校、知立市が小学校 7 校に対し中学校 3 校、高浜市が小学校 5 校に対し中学校 2 校となっている。</p> <p>市域の面積、人口規模、学校の成り立ち等、市によって状況が異なるため、単純には比較ができないが、当市は中学校が相対的に多いと考えられる。</p>
	<p>(イ) 厳しい考え方だが、統廃合・義務教育学校を含めた協議をする時に来ていると考えるがどうか。</p>	<p>学校教育法施行規則では、小中学校の学級数は 12 学級以上 18 学級以下を標準とすると定められている。この標準は、「特別の事情があるときはこの限りではない」</p>

		<p>という弾力的なものとなっている。</p> <p>市内の小中学校においては、12学級を下回る学校もあれば、18学級を超える学校もある状況。</p> <p>統廃合等、学校規模の適正化の検討については、標準の学級であるかどうかだけでなく、あくまでも児童生徒の教育環境、例えば通学距離、地域性等の観点も考慮し、検討していく必要があると考えている。児童生徒数の減少が予想されるが、急激に学級数が減少する状況にはないので、今後、適切な時期に保護者や地域住民と共通理解を図りながら進める必要があると考えている。</p>
	<p>(ウ) 公共施設の面積問題でも、碧南市の学校は40%を占めるので効果も見込めるが、ただその際には通学距離や、時代背景的にセキュリティの面からもスクールバスの導入も同時に検討すべきと考えるがどうか。</p>	<p>平成27年1月に文部科学省が示した公立小中学校の適正規模・適正配置等に関する手引きでは、通学距離の上限の目安として、小学校では4km、中学校では6kmとなっている。学校の統廃合の際には、これらの目安を踏まえ、スクールバスの導入も検討していくことになるかと考えられる。</p>
	<p>(エ) 今後の学校運営を考え</p>	<p>文部科学省が設置する小中学校</p>

	<p>る“協議会”、“審議会”等を立ち上げるべきと考えるがどうか。</p>	<p>の適正配置の在り方を検討する会議でも、地域の合意形成は必須と考えられている。そのプロセスとして、有識者や市民を委員として組織する協議会等の会議は有意義であり、今後の統廃合等を検討する際には、そのような会議を組織することも必要であると考えている。</p>
--	---------------------------------------	---

課名 学校教育課

議員名	質問内容	回 答
生田悠議員	<p>2. 小中学校における水泳授業について</p> <p>(1) 水泳授業の教育的な目的や意義について</p>	<p>水難事故を未然に防ぐために基礎的なスキルを身につけることが大切だと考えている。</p> <p>各学校においては、小学校低学年では、「水慣れ・水遊び」の時間を十分に確保し、楽しく学ぶことに重点を置き、高学年では、クロールや平泳ぎなどの初歩的な泳ぎの習得に力を入れている。中学校では、続けて長く泳いだり、速く泳いだりする運動を通して、全身の持久力や身体の調整力等を図っている。泳力に関して、個人差はあるが、その過程の中で、子供が</p>

		<p>自分に適した泳ぎを見つけることは、生涯スポーツの観点からも重要なことと考えている。</p>
	<p>(2) 小中学校における水泳授業の実施率や実施方法について</p>	<p>昨今の猛暑を踏まえ、今年度から夏休み中のプール開放を取りやめ、多くの小学校で水泳授業の開始時期を例年よりも1週間程度早めて、実施した。学校ごとに多少のばらつきはあるが、小学校では、28～31日の実施予定日数に対して、23～29日実施することができた。また、中学校は、実施予定をしていた16～18日をどの学校も実施でき、水泳授業の時間の確保に努めることができた。</p>
	<p>(4) 水泳授業における安全対策について</p>	<p>中学校は、体育の教員が授業を行っているため、指導と安全管理に専門性が維持できているが、小学校では、体育が専門ではない担任による授業も多いため、毎年、プール開きの前までに、応急救護等の研修を行い、水泳授業を行うようにしている。</p> <p>また、水泳の授業中は、監視室にAEDと緊急連絡用の携帯電話を置き、迅速に救急対応ができるようにしている。</p>

	<p>さらに、監視体制の充実を図るため、複数の学級で授業を行うようにした上で、全体を監視する監視員を必ず1名以上は配置している。</p> <p>そのほか、プールサイドでの火傷防止のため、水をまいたり、熱中症対策として、子供には水筒を持参させたりしている。</p> <p>今年度、教員の負担軽減を図るため、水泳授業の監視員に外部人材を登用した。これまで、監視員として配置されていた先生方に時間やゆとりが生まれ、学校内の別の業務に従事することができ、子供の対応に時間を費やせるようになった。学校側からは、来年度以降も監視員の配置を継続してほしいとの強い要望があり、次年度については、予算状況を踏まえながら、継続を検討していく。</p> <p>また、水泳授業を実施するにあたり、指導だけではなく、プールの管理も教員の業務として時間を要する。プールの老朽化も進んでいるため、今後は、民間施設への委託が可能かどうかを検討していく必要があると考える。</p>
(5) 教員負担の軽減のための民間活用について	

	<p>(6) 水泳授業の今後の方向性について</p>	<p>水泳授業の教育的な目的や意義を踏まえると、今後も可能な限り、学校プールで継続して指導をしていきたい。また、実技指導を大切にしていきたいが、小学校での指導の専門性の維持に関わる課題やプールの老朽化や管理にかかるコストを含め、将来的に学校プールが使用できなくなる状況も見通していく必要がある。</p> <p>今後は、近隣市の状況を踏まえながら、民間への委託や教員の負担軽減につながる監視員等の配置、座学の導入も選択肢としながら、持続可能で児童生徒にとって価値のある水泳授業の在り方を検討していく。</p>
山口春美議員	<p>1. 戦後80年の平和教育について</p> <p>(3)「平和自治体宣言」後の取り組みについて</p> <p>ウ 戦争資料の保存、常設展示について</p>	<p>戦争資料の保存については、本市に関係がある資料を中心に、市史資料調査室にて民俗資料として、現在は199点を保存している。</p> <p>その中の一部は、学校教育に役立てるため、軍服、千人針、慰問</p>

		<p>袋、防空頭巾などを貸出キットとして準備し、授業へ貸し出している。</p> <p>展示については、令和２年度が戦後７５周年の節目の年であったことから「大濱町（おおはまちょう）常会資料から見る戦時中の人々の暮らし」を開催した。</p> <p>本年は戦後８０周年の節目の年として、遺族連合会・福祉課と共催のもと、戦争に関わる市史資料収蔵品展「戦争と碧南～子どもたち（未来）へ伝えたいこと～」を開催した。</p> <p>常設展示については、展示スペースもないことから現在のところは考えておらず、引き続き節目での展示を企画していく。</p>
	<p>< ２回目質問 ></p> <p>保存は今後も続けるのか。</p> <p>エ 「戦争がもたらした惨禍と核兵器をめぐる諸課題に関する学習指導案」の徹底について、いつからだれがどのように行うのか。</p>	<p>所有している１９９点を処分する計画は現時点ではない。</p> <p>令和７年７月１８日に文部科学省初等中等教育局 教育課程課から、発出された文書のことである。</p> <p>内容としては、戦後８０年という節目の年であることや、日本原水爆被害者団体協議会が、ノーベ</p>

		<p>ル平和賞を受賞するなどの動きを受け、戦争がもたらした惨禍や核兵器をめぐる諸課題をどのように扱えるのかについて、各校にて創意工夫を活かした授業づくりを構想する上で、検討の材料となり得る指導案を作成したものである。</p> <p>よって、本文書に掲載されている指導案を参考にしつつ、各小中学校の教員が、年間指導計画に位置付けられている時期に、社会科の歴史学習を行うことになる。</p>
	<p>オ 文書内にある「多様な見解のある事柄、未確定な事柄」とは何か。だれがその定義を判断するのか。</p>	<p>社会科の学習指導要領に、歴史学習の内容の取扱いにて配慮する事項として、「多様な見解のある事柄、未確定な事柄」との記述がある。こうした記述の背景には、歴史的事象の中には、当時の資料が限られていたり、研究が進行中であったりするために、学術的な見解が一つに定まっていないものがある。また、国や地域、立場によって評価や解釈が異なる事柄も含まれる。</p> <p>こうした事柄については、授業を担当する教員が、児童生徒が一面的な理解にとどまることなく、複数の資料や視点をもとに考察</p>

	<p>カ 日中戦争と、真珠湾攻撃からの4年戦争は、明確な侵略戦争であり、とりわけ真珠湾攻撃以降の戦争がなければ名古屋、岡崎など各地の大空襲や、広島、長崎への原爆投下をさけられたという認識について</p>	<p>し、自らの考えを形成する力を育めるよう授業を進めていくことになる。</p> <p>「多様な見解のある事柄、未確定な事柄」にあたると考える。</p> <p>日中戦争や太平洋戦争に関する歴史的評価には、さまざまな視点が存在し、国内外の研究や議論も多岐にわたっている。</p> <p>したがって、戦争の原因や結果についても、単に「侵略か否か」といった一つの枠組みにとどまらず、当時の国際情勢、国内の政治的背景、民間人の視点など、幅広い観点から学ぶ機会を提供することが重要である。</p> <p>今後も、児童生徒が歴史を自分自身の問題として捉え、平和な世界を願い、大切にし、築いていこうとする社会人として育てていくことが重要である。</p>
小林晃三議員	<p>1. 碧南市の災害対策（酷暑・内水氾濫・地震津波）について</p> <p>(2) 酷暑対策について</p> <p>イ 小中学校や保育園・幼稚園での対応について</p>	<p>学校教育課において、熱中症警戒アラートなどの情報を収集し、体育や部活動を行うことが危険と予想される場合は、始業時までには注意を促すメールを各学校へ送付</p>

		<p>し、絶えず啓発と注意喚起を行っている。</p> <p>通学及び帰宅時の酷暑対策としては、日傘等の使用を推奨している。中学校では、ポロシャツや体操服のシャツ出しを推奨し、少しでも風通しがよくなるように努めている。</p> <p>また、学校の教育活動中の対応としては、熱中症予防に向けたガイドラインに基づき、WBGTが31℃以上の場合は、運動については原則中止、屋内の集会等は、エアコンの効いた教室での放送に切り替えるなど対応をしている。</p>
鈴木みのり議員	<p>2. 教育行政について</p> <p>(1) 学校教育について</p> <p>ア 教育長の理想と考える1クラスの人数について</p>	<p>クラスの人数について3つの視点が考えられる。</p> <p>1つ目は国際比較。欧米諸国の現状を見ると、2024年、OECD加盟国の平均は、小学校21人、中学校23人とある。また、国際学力調査「PISA」の上位国であるシンガポールやアイルランドでは、25人程度で学級編成をし、成果を上げている。</p> <p>2つ目は、授業の形態。児童生徒の多様な考えに触れられると</p>

	<p>イ 今年度の各小学校区の出生数について</p> <p>(ウ) 教育長が考える碧南市における単学級の最低人数について</p>	<p>もに、教員の目も行き届く人数とすると、24人程度かと思います。また、24という数は、グループ活動の人数を2, 4, 6, 8, 12と分けやすく活動内容に合わせて自由に選べる良さがある。</p> <p>3つ目は、教育課題へ対応。いじめ、不登校、特別な支援が必要な児童生徒など、学校が抱える課題に丁寧に対応するためには、2つ目と同様に1クラス24人程度が、これまでの教員としての経験から、適切な人数だと考える。</p> <p>1学年10人未満になるような状況では、法令上、2つの学年を合併する複式学級の編成を視野に検討する必要がある。</p> <p>しかし、複式学級にいたる状況が推計されるまでには、学校の統廃合についても検討する必要があると考える。</p>
大竹敦子議員	<p>2. 発達性ディスレクシアについて</p> <p>(1) 市内の小中学校での発達性ディスレクシア（読み書き障害）の児童の人数について</p>	<p>発達性ディスレクシアのみを取り出しての人数調査は実施していないが、本市においては8月25</p>

	<p>(2) 発達性ディスレクシアに対応できる専門的な教師を育成し、就学時健診でのスクリーニング及びトレーニングを実施することについて</p>	<p>日現在、通級指導を受けている児童生徒120名のうち、発達性ディスレクシアを含む学習障害として指導を受けている児童生徒が77名いる。</p> <p>また、令和7年5月1日現在の愛知県の調査によりますと通級指導を受けている発達性ディスレクシアを含む学習障害の児童生徒は、2,115名である。</p> <p>当該就学時検診では、発達性ディスレクシアと判断するまでの専門的な検査は行っていない。本市では、新M-S知能検査を活用し、学習に課題がある児童を把握する取組を行っている。この検査は、すべての就学前の子供を対象に実施している。仮に、専門的な検査を実施するとした場合には、発達性ディスレクシアと診断された子供の保護者がそれを受け入れる心情的な面への配慮も考え、時間が必要である。</p> <p>しかし、現在実施している知能検査において、学習に課題のある可能性がある子供をスクリーニングすることはできるので就学後の児童の指導に生かしていくことは</p>
--	---	--

		<p>今後も進めていきたいと考える。</p> <p>また、発達性ディスレクシアに対応できる専門的な教師の育成として、通級指導担当教員の専門性向上のため、研修を継続的に行っております。昨年度の第2回通級指導担当者会において、こども課発達支援係による発達性ディスレクシアを含む学習障害やその他の発達障害のある児童生徒への関わり方について研修を行ったのもその一環である。</p> <p>また、今後、通常の学級担任に対して特別支援教育に関する研修をさらに進め、発達性ディスレクシアの児童に対する支援のスキルや通級指導へとつなげていける専門性を高めていきたい。</p>
--	--	---

課名 文化財課

議員名	質問内容	回 答
鈴木みのり議員	<p>2. 教育行政について</p> <p>(2) 碧南ゆかりの人物伝について</p> <p>ア 1988年に編集された碧南の偉人20人の中から、現在まで単独の「碧南ゆかりの人物伝」の冊子に</p>	<p>1988年に市が発行した『へきなんの人と自然』で、郷土の偉人として掲載されたのは30人である。このうち、市史料別巻で碧</p>

	<p>なられた人物は。</p>	<p>南出身及びゆかりの人物伝として 取り上げた偉人は１０人である。</p> <p>（発行順に、平岩千代治、藤井達吉、近藤坦平、服部長七、清沢満之、伊藤証信、山中信天翁、加藤平五郎、岡本兵松、齋藤倭助）</p>
	<p>イ 今後の予定について</p>	<p>碧南出身及びゆかりの人物伝は、令和４年の『新・藤井達吉物語』を最後としている。</p> <p>令和６年には市史料別巻十三で「菊間藩大浜陣屋の記憶」と題して刊行した。現在は、油ヶ淵を題材にした読み物の準備を進めている。</p>
	<p>ウ 伊藤証信さんの功績と夫人について</p> <p>（ア）無我苑の成り立ちについて</p>	<p>無我苑は、昭和９年に伊藤証信が開いた研修道場「無我苑」があった場所で、平成元年に遺族から寄贈を受け市が再建し平成４年に開苑したものである。</p>
	<p>（イ）あさ子夫人の活動について</p>	<p>伊藤あさ子夫人は、明治１４年に山口県に生まれ、明治４２年に伊藤証信と結婚された。</p> <p>以降、無我苑の経営、機関誌の発行、証信の著書の出版、婦人運</p>

	<p>(ウ) あさ子夫人の顕彰について</p>	<p>動への参加など、夫である証信とともに“無我愛運動”に生涯を捧げ、昭和31年に75歳で亡くなった。</p> <p>なお、あさ子夫人は、与謝野晶子、平塚らいてうを訪ねたり、市川房江との交流を通して婦人解放運動に協力した、と書かれた文献がある。</p> <p>伊藤証信を語る上で、あさ子夫人との活動は欠かせないと考えている。</p> <p>夫妻の活動については、無我苑の展示コーナーで、折に触れて紹介するとともに、『伊藤証信物語』の刊行を通じて顕彰してきた。</p> <p>今後も、講座などを通じて夫妻の活動を紹介していく。</p>
--	-------------------------	--

課名 スポーツ課

議員名	質問内容	回答
鈴木みのり議員	<p>1. 安心・安全で活気あるまちづくりについて</p> <p>(3) 活気あるまちづくりについて</p> <p>ア あと1年と迫ったアジア競技大会への碧南市の取組</p>	

	<p>みについて</p> <p>(ア) この1年で展開されるイベントについて</p> <p>(イ) 大会組織委員会と碧南市とのすみ分けについて</p> <p>(ウ) ビーチバレー開催市として市単独の目玉イベントは何か有るのか。</p> <p>(エ) 活気ある碧南市と言え ば“餅投げ”だと思 うが、大会期間中に会場若 しくは会場近くで毎週実</p>	<p>10月3日から5日にアジア競技大会のテストが実施される。</p> <p>また、年明けに著名人のトークショーを予定している。</p> <p>加えて、小中学校の給食にアジア各国の料理の提供を予定している。</p> <p>さらに、聖火リレーとそれに併せた盛り上げイベントを予定している。</p> <p>大会組織委員会はアジア競技大会の主催者であるアジアオリンピック評議会（OCA）の支援や調整、大会運営を行い、碧南市のような競技開催自治体は会場利用調整や大会の気運醸成、来場者へのおもてなしの役割を担っている。</p> <p>年明けにビーチバレーボール競技にゆかりのある有名人に出演していただくトークショーを企画している。</p> <p>餅投げは本市の伝統行事と認識しているが、大会期間中に餅投げを開催するスペースの確保が難しい。また、安全確保のための人員</p>
--	--	--

		<p>PRを行っていただいた。</p> <p>さらに、中学生のビーチバレーボール全国大会である HEKINAN マンモスカップや、安城市のデンパークでもPR活動を行った。今後は明石公園や、ららぽーと安城でのイベント、10月に「大浜てらまちウォーキング」でもPR活動を予定している。年明けには、著名人を招いたトークショーといった企画も準備している。</p> <p>また、10月3日から5日に碧南緑地ビーチコートでアジア競技大会のテストが実施され、海外チームの参加も予定されている。</p> <p>大会会場では来場者の方に楽しんでいただけるイベントも準備し、大会の気運醸成を図っていく。</p>
	<p>ウ 来碧国及び選手数の見込み及び選手団等の受け入れ態勢は。</p>	<p>参加国及び参加選手の調整、また、選手団の受け入れに関しては大会組織委員会が行っている。現時点での見込みは、「調整中であり、お答えできることはない。」との回答をいただいた。選手団の受け入れに関しては、本市アジア競技大会推進室から大会組織委員会に対し、衣浦グランドホテルの活用を要望している。</p>

	<p>エ 運営ボランティアの確保状況は。</p>	<p>本市アジア競技大会推進室がボランティア募集に協力した結果、目標４７０名に対し４３６名となっている。ボランティアの種類は「競技運営サポート」が１２種類、「観光・交通案内サポート」が２種類、合計１４種類ある。今後のスケジュールは「共通研修」、「役割別研修」、「会場別研修」などの研修を経て、大会本番を迎える予定と伺っている。</p>
--	--------------------------	---